

2. 社会資本のストック効果最大化に向けた生産性革命の推進

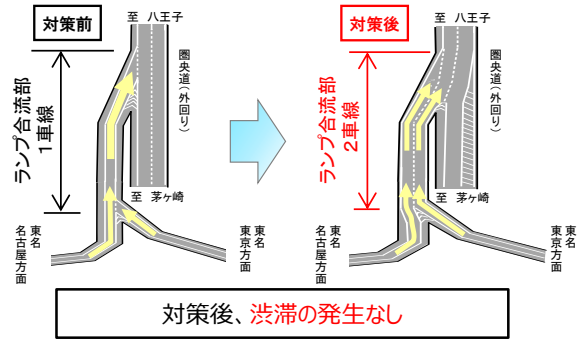
- 「賢く投資」・「賢く使う」を徹底し、社会資本のストック効果を最大化
 - ・ 既存施設の有効活用により生産性革命プロジェクトを推進
 - ・ ハード・ソフトを総動員するとともに、民間活力も最大限活用

既存施設の有効活用

ピンポイント渋滞対策

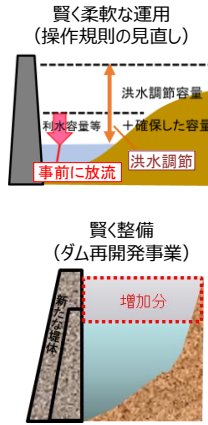
- 既存の道路幅員の中でピンポイントに2車線を確保し、効果的に渋滞解消

＜海老名JCT(外回り)の例：平成27年10月に対策実施＞



ダム再生

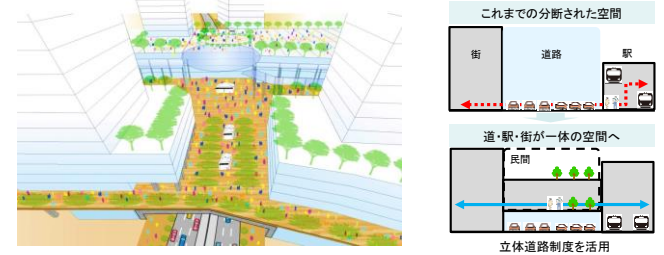
- 降雨予測等の精度向上を踏まえたダム運用の見直しにより、洪水調節・利水機能を最大限活用(28ダムで検討中)
- 既存ダムの堤体かさ上げ等により、治水・利水能力を向上(20ダムで実施予定)



民間活力の最大限活用

国道15号・品川駅西口駅前広場の整備

- 計画段階からの官民連携、事業の進捗調整、道路上空の空間の有効活用により、民間活力を最大限に引き出すまちづくりを実施
- 道・駅・街を一体の空間として再編し、モーダルコネクト機能を強化



空港処理能力(発着枠)の拡大

- 羽田の飛行経路見直し等により、2020年までに首都圏空港(羽田・成田)の発着枠を約8万回拡大

コンセッションの推進(空港)

- 仙台空港のコンセッションの実施により、路線やアクセスの拡充と同時に維持管理費の低減を実現(このほか6件の空港コンセッションを推進中)

路線拡充

- ・タイガーエア(国際線LCC)就航
- ・エバー航空台北線増便
- ・スカイマーク神戸線就航
- ・Peach(LCC)拠点化計画

アクセス拡充

- 【鉄道】仙台空港～仙台
- 【バス(定期運行)】
 - ・福島・会津若松
 - ・松島・奥松島・平泉
 - ・酒田・鶴岡
 - ・山形駅
- 【バス(季節限定)】
 - ・安比高原(盛岡駅経由)
 - ・遠刈田温泉
 - ・山形蔵王温泉

ハード・ソフトの総動員

水害に対する取組

- 頻発・激甚化する自然災害へ効果的に対応するため、整備効果の高いハード対策と住民目線のソフト対策を総動員(水防災意識社会再構築ビジョン)
- 要配慮者の避難を確保するため、災害リスクの高い区域において、避難確保計画作成及び避難訓練の実施を義務化(水防法等の一部を改正する法律案(平成29年2月10日閣議決定))

氾濫発生時にも被害軽減を図る対策

- ・堤防構造を工夫する対策の推進

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- ・堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

住民目線のソフト対策

- ・要配慮者等住民の避難確保
- ・洪水情報等をリアルタイムで提供